
編集後記

紀要 17 卷 1 号が完成いたしました。掲載論文は原著 4 編、研究報告 7 編、資料 3 編の 14 編です。投稿者の皆様、査読者の皆様には心より感謝申し上げます。

私は本年度から紀要編集委員として、紀要の編集に携わらせていただきました。投稿者の皆様は、査読者のご意見をもとに記載内容を何度も修正し、より充実した論文が投稿に向け努力されており、査読された先生方も論文内容の充実に向け丁寧にご助言され、まさに投稿者と査読者の協働により洗練された紀要論文の掲載に至ることを実感いたしました。

17 卷では、本学の修士論文・博士論文を基盤とした投稿が 5 編あり、大学院で取り組んだ看護実践研究の成果が、看護実践の改善・改革に向け貴重な新たな知見として公表されています。投稿者の方は、紀要投稿にあたり修士論文・博士論文を紀要論文にする難しさを痛感されたことと思います。看護実践研究では、課題の明確化、課題解決の方策の考案、方策の実践、取り組みの評価と、その研究プロセスすべてに貴重な意味があるのですが、字数に制限のある紀要論文に全プロセスを著そうとすると、研究プロセスの紹介が主になり、利用者主体として組織的に取り組むまでの詳細が著せなくなります。また取り組み内容の詳細を著すために分断すると、課題解決に向けた一貫した研究として示すことが難しくなります。しかし、紀要論文に著すことで、自身の取り組んだ看護実践研究を振り返る機会となり、看護実践の質向上に向けた成果や研究の価値、新しい知見の提言につながり、投稿者のその後の研究的取り組みの発展にもつながると思います。看護実践研究の論文文化に向けた支援については検討を続けます。今後も貴重な修士論文・博士論文のご投稿を期待しております。

また 17 卷では、看護学以外の学問領域の投稿もあり、学際的な論文掲載に向け大変喜ばしいことと思います。そのほか卒業生支援の方策の検討や教育実践方法の検討、本学の看護実践現場との協働による課題解決に向けた取り組みの成果等、興味深い論文が掲載されています。ぜひご一読ください。

紀要編集委員会では、今後も本学の紀要としての特色を生かした充実した論文の掲載を目指して検討を重ね、投稿者の皆様の支援に努めたいと思います。

(藤澤まこと)

岐阜県立看護大学紀要編集委員会

委員長	梅津	美香
委員	北山	三津子
	〃	服部 律子
	〃	藤澤 まこと
	〃	山田 洋子
	〃	北村 直子
事務局	井上	貴之
	〃	柴田 美穂

岐阜県立看護大学紀要

第 17 卷 1 号 2017 年 3 月発行

ISSN 1346-2520

発行所 公立大学法人岐阜県立看護大学
〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1
TEL (058) 397-2300 (代) FAX (058) 397-2302
印刷所 株式会社コームラ